

！プーチンロシア大統領宛の署名にご協力をお願いします！

シベリアー太平洋石油パイプラインの第二段階では、推定生息数わずか 30 頭のアムールヒョウのすむ森林のすぐ脇を通り、ロシア唯一の海洋保護区の至近地点に終点が建設されようとしています。

石油もれなどの事故が起きてしまった場合、取り返しのつかないような生態系の破壊に直結する恐れがあります。

パイプラインのターミナルはペレボズナヤという港に建設が予定されていますが、その際提出された環境影響評価はロシア法の要請を満たしていないとされ、ロシア政府閣僚でさえ反対意見を表明しています。

この、大きな問題をはらんだターミナルの建設地を変更するため、以下の署名にご協力願います。

ロシア連邦大統領

ウラジーミル・ウラジーミロヴィチ・プーチン殿

シベリアー太平洋石油パイプラインのルートおよびターミナル建設地の変更に関する要望

- 私たち日本の市民・納税者は、世界最大かつ最深の淡水湖で、ユネスコ世界遺産にも登録されているバイカル湖とその周辺の生態系保護のため、シベリアー太平洋石油パイプラインのルートを変更された大統領のご英断を知り心からの賞賛を送ります。
- パイプライン計画第二段階のルートは、貴国で最も歴史の古い国立自然保護区「ケドロバヤ・パジ」のすぐ側を通過しますが、ここは世界で現在 30 頭しか生息していないと推定されている、アムールヒョウの貴重なすみかです。アムールヒョウの減少は、徐々に多くの日本人に知られてきています。わたしたちは海をはさんだ貴国の隣人として、こうした貴重な野生生物の絶滅をたいへん懸念しています。
- 計画第二段階ではまた、パイプラインのターミナル施設をペレボズナヤ湾に建設することが検討されていますが、ペレボズナヤ湾はケドロバヤ・パジ自然保護区に隣接している上、石油流出事故が発生した際は、貴国唯一の国立海洋自然保護区「極東海洋自然保護区」の生態系やこの海域の水産資源に、取り返しのつかない損害が及ぶでしょう。日本でも、やはり世界遺産に登録されている北海道の知床半島で、2月から3月にかけて 5,000 羽を超える海鳥が石油による海洋汚染が原因で死亡しています。私たちは、ロシアの地域住民の方が、知床半島と同じ悲劇を決して味わうことのないよう、万全を尽くさなければならないと考えています。
- ターミナルの建設予定地の環境影響を比較した評価が、トランスネフチ社と、環境保護団体や有識者とから出されており、そこには大きな隔たりがあります。トランスネフチ社の評価では、ペレボズナヤがターミナルに最適な場所と明記されましたが、一方環境保護団体等の評価では、ペレボズナヤにターミナルを建設した場合の、生態系に悪影響を及ぼす危険性を他の候補地と比較すると、17 倍にも上るとされています。
- 貴国の閣僚の中でさえ、ペレボズナヤにターミナルを建設するのを疑問視する声があるということです。このような事実により私たちは、貴国の貴重な生態系を永く維持していくためにも、環境保護団体や有識者による環境影響評価を尊重し、シベリアー太平洋石油パイプラインのルートおよびターミナル建設地の変更を検討いただきますよう、要望いたします。

（署名欄は、次ページにあります）

・ 住所

呼びかけ団体

- 国際環境 NGO エフ・オー・イー・ジャパン (FoE Japan)

〒171-0031 東京都豊島区目白3丁目17番24号 総合設計機構ビル2階
TEL 03-3951-1081、FAX 03-3951-1084

- 野生生物保全論研究会 (JWCS)

(恐縮ですが、ご署名はFoE ジャパンあるいはWWF ジャパンにて受け付けます)

- WWF ジャパン（世界自然保護基金ジャパン）

〒105-0014 東京都港区芝3丁目1番14号 日本生命赤羽橋ビル6階
TEL 03-3769-1713、FAX 03-3769-1717

記入した署名の送り先・締め切り

2006年8月31日までに、上記、FoE ジャパンもしくは WWF ジャパン宛、FAX あるいは郵送にてご返信ください。

★ご記入いただいた皆さまの個人情報は、本申請のためにのみ使用します。ご記入は任意ですが、必要な情報のご記入がない場合は、申請の目的が果たされないことがあります。個人情報保護法に基づく開示・訂正などのお問い合わせは、WWF ジャパン個人情報保護係（責任者）（privacy@wwf.or.jp、03-3769-1719）にて承ります。

以上の事項に同意の上ご署名願います。